



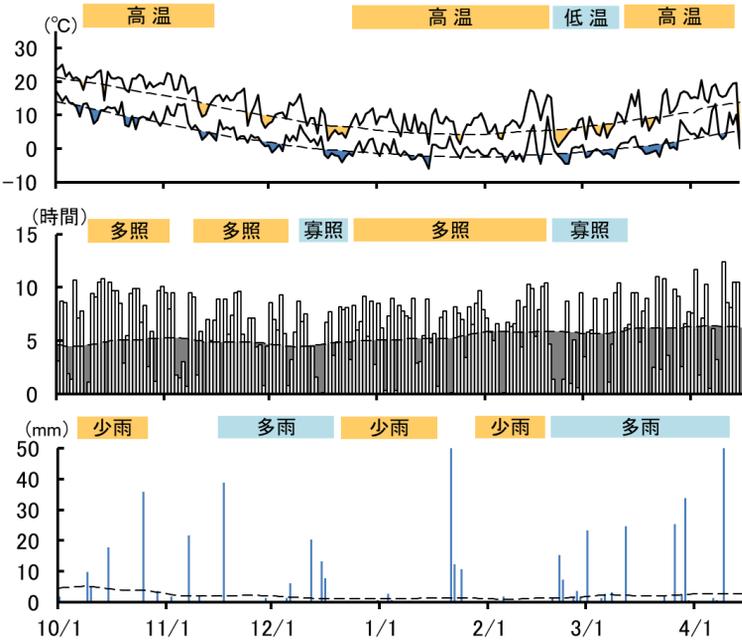
令和6年4月22日
宮城県石巻農業改良普及センター
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/

令和6年産 麦作情報 (Vol.4)

今後の栽培管理のポイント: 赤かび病の適期防除

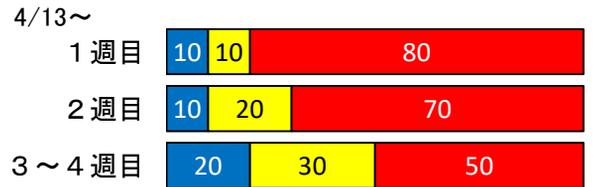
1. 10月~4月上旬の気象経過(図1)

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



■低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



■低い ■ 平年並 ■ 高い

<一か月予報4/13~5/12 ※4/11時点>
期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

図1 気象経過(アメダス石巻)
※上:最高・最低気温、中:日照時間、下:降水量
※点線は平年値

2. 生育調査ほの生育状況と生育ステージ(4月10日現在、表1、表2)

- ◆ 草丈は、大麦で平年より高く、前年より短い傾向、小麦で平年・前年より短い傾向です(表1)。
- ◆ 茎数は、真野ミノリムギで平年より多く、それ以外のほ場で平年並から平年より少なくなっています(表1)。
- ◆ 幼穂長は、すべてのほ場で平年より長く、前年より短くなっています(表1)。

表1 生育調査結果(4月10日)

品種	調査ほ(旧市町)	播種日(月/日)			草丈(cm)			茎数(本/m ²)			幼穂長(mm)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
シュンライ	給人町(桃生)	10/02	-5	-15	54.5	-5.1	+15.2	725	103%	80%	35.1	-1.3	+17.1
ミノリムギ	高須賀(桃生)	10/14	-1	-8	35.7	-15.4	+2.7	706	73%	98%	14.2	-8.0	+5.5
	真野(石巻)	10/28	+3	-2	37.1	-4.2	+8.2	709	97%	118%	22.3	-2.4	+11.6
ホワイトファイバー	水沼(石巻)	10/14	-1	-8	45.9	-3.8	+8.3	638	91%	101%	41.3	-4.2	+17.5
シラネコムギ	太田(桃生)	10/25	-2	-2	31.2	-6.3	-1.2	779	74%	77%	3.2	-1.6	+0.7

※ 平年差・比は過去5か年の平均値との比較。播種日の+は遅い、-は早いことを示す。

※ 幼穂長は9本の平均値

表2 生育ステージ予測

品種	調査ほ (旧市町)	4/10調査にお ける主茎5本の平均 幼穂長 (mm)	減数分裂期			出穂期	開花期
			2回目の 追肥時期	前年差 (日)	平年差 (日)		赤かび1回目 防除時期
シュンライ	給人町 (桃生)	35.1	4月10日	+2	-4	4月15日	4月21日
ミノリムギ	高須賀 (桃生)	14.2	4月17日	+3	-4	4月24日	4月30日
	真野 (石巻)	22.3	4月14日	+1	-6	4月21日	4月27日
ホワイトファイバー	水沼 (石巻)	41.3	4月9日	+3	-4	4月15日	4月22日
シラネコムギ	小船越 (河北)	6.0	4月26日	-7	-10	5月6日	5月17日
	太田 (桃生)	3.2	4月26日	+3	±0	5月5日	5月14日

※ 普及に移す技術第91号をもとに、4月10日付け調査による平均幼穂長と石巻の予測気温(確率予測資料)を使用して算出した目安。
 ※ 今後、平年並みの気温で経過した場合の想定日です。暖かい日が多ければ早くなり、寒い日が多ければ遅くなります。
 ※ 「+」は前年や平年と比べて遅いことを、「-」は前年や平年と比べて早いことを示しています。

3 今後の管理

(1) 追肥：穂揃期追肥(小麦のみ)の適期実施をしましょう

- ◆ 小麦は子実のたんぱく質含有率の高いものが求められます。たんぱく質含有率は登熟期の窒素供給量が多いほど高まるので**穂揃期追肥**を忘れず行いましょう。
- ◆ 穂揃期はほ場の全茎数の8～9割が出穂した日です。ほ場の状態を確認して適期施用を行いましょう。
- ◆ **夏黄金**は特に高い子実たんぱく質含有率を求められます。シラネコムギの**2倍量**の穂揃期追肥をしましょう。

表3 麦類の追肥量の目安

種別	品種	起生期(株直し)		幼穂形成期	減数分裂期	穂揃期
		起生期の葉の 黄化状態	越冬後、茎葉が再び 生長を始める時期	幼穂長が2～3mm	幼穂長が3～5cm 止葉の葉耳間長±0mm 出穂10～15日前	出穂した茎が80%
大麦	シュンライ ミノリムギ ホワイトファイバー	少ない	1	2～2.5	2～2.5	—
	目立つ	2				
小麦	シラネコムギ あおばの恋	—	—	2.5	2.5～5	2.5
	夏黄金	—	—	—	—	5

注) 追肥量: 窒素成分量(kg/10a)

(品種・生育量により調節)

出穂期、穂揃い期の判断

麦類の出穂とは、**芒を除く穂の本体**が顔を出した状態(写真の丸印の状態)です！

大麦



小麦



- ★ **出穂期**とは、ほ場の全茎数の**4～5割**が出穂した(写真の丸印になった)日です。
- ★ **穂揃期**とは、ほ場の全茎数の**8～9割**が出穂した(写真の丸印になった)日です。

適期に防除を行いましょ！

(2) 赤かび病防除:「発生時期は大麥で早い、小麦でやや早い、発生量は平年並み」と予測されています

(発生予報第1号 宮城県病害虫防除所 令和6年4月19日発行)

重要 【赤かび病防除適期】

1回目：開花始期～開花期

2回目：1回目の7～10日後

(3回目：2回目の7～10日後)

【開花始期～開花期の大まかな目安】

【大麥】 出穂期後5～8日頃

【小麦】 出穂期後10～13日頃

- ◆ 赤かび病防除は、**防除時期(特に1回目)**が重要です。
- ◆ 基本は2回防除です。ただし、**降雨が続く場合**や「**夏黄金**」の場合は**3回**の防除が必要です。
- ◆ 薬剤耐性菌対策のため、**RACコードが同じ薬剤の連用を避け**、計画的に**ローテーション散布**を行いましょ。
- ※RACコード: 農薬の有効成分を作用機序別にグループ分けし、アルファベット又は数字で表したものです。
- ◆ 「**チルト乳剤25**」と「**シルバキュアフロアブル**」は作用機序が同じなので、**連用しない**でください(表4)。
- ◆ 「**シラネコムギ**」は**開花期が早まるほど発病リスクが高まる**ので適期を逃さないよう防除を行いましょ。
- ※普及に移す技術第92号参考資料「小麦開花期とコムギ赤かび病発病リスクの関係」より

表4 赤かび病の防除薬剤(2024年4月17日登録反映)

薬剤名	適用作物	希釈倍数・使用量	散布液量	使用方法	使用時期	使用回数	RACコード
トップジンMゾル	麦類(小麦を除く)	1500倍	60～150L/10a	散布	収穫14日前まで	3回以内(但し、出穂期以降は1回以内)	F:1(B1)
		8倍	0.8L/10a	無人航空機による散布	収穫21日前まで		
	小麦	1000～1500倍	60～150L/10a	散布	収穫14日前まで		
		8倍	0.8L/10a	無人航空機による散布	収穫14日前まで		
トップジンM水和剤	麦類(小麦を除く)	1000～1500倍	60～150L/10a	散布	収穫30日前まで	3回以内(但し、出穂期以降は1回以内)	F:1(B1)
	小麦	1000～1500倍	60～150L/10a	散布	収穫14日前まで		
		250倍	25L/10a	散布 【ブームスプレーヤー】			
トップジンM粉剤DL	麦類(小麦を除く)	4kg/10a	60～150L/10a	散布	収穫14日前まで	3回以内(但し、出穂期以降は1回以内)	F:1(B1)
	小麦	3～4kg/10a					
ストロビーフロアブル	麦類(小麦を除く)	2000～3000倍	60～150L/10a	散布	収穫14日前まで	3回以内	F:11(C3)
	小麦	2000～3000倍	60～150L/10a	散布			
		500倍	25L/10a	散布 【ブームスプレーヤー】			
シルバキュアフロアブル	大麥	2000倍	60～150L/10a	散布	収穫14日前まで	2回以内	F:3(G1)
		16倍	0.8L/10a	無人航空機による散布			
	小麦	2000倍	60～150L/10a	散布	収穫7日前まで		
		500倍	25L/10a	散布 【ブームスプレーヤー】			
チルト乳剤25	大麥	1000～2000倍	60～150L/10a	散布	収穫21日前まで	1回	F:3(G1)
		8倍	0.8L/10a	無人航空機による散布			
	小麦	1000～2000倍	60～150L/10a	散布	収穫3日前まで	3回以内	
		8倍	0.8L/10a	無人航空機による散布			

－農薬を適正に使用しましょ－

- 1 ラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分に確認しましょ。
 - 2 ラベルの注意事項にある「注意喚起マーク」の表示に従い、適切な保護具を着用しましょ。
 - 3 農薬の使用前後には、防除器具を点検し、十分に洗浄されているか確認しましょ。
 - 4 近隣住民等に散布スケジュールを事前に周知し、周辺環境への飛散防止に努めましょ。
 - 5 農薬は計画的に購入・使用し、使い切るよう努めましょ。
 - 6 散布後には農薬の使用履歴を記帳しましょ。
- ※薬剤の選定に当たっては、最新の農薬登録情報を確認しましょ。
農林水産省の農薬登録情報提供システム: <https://pesticide.maff.go.jp/>